

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社ドウシシャ

コード番号 7483 URL <http://www.doshisha.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 野村 正治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役(財務経理兼貿易業務担当)

(氏名) 藤本 利博

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 06-6121-5669

平成21年12月4日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	39,696	1.2	2,956	37.4	2,894	33.8	1,725	47.3
21年3月期第2四半期	39,229	—	2,151	—	2,164	—	1,171	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	95.08	—
21年3月期第2四半期	64.54	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	45,714	35,150	76.1	1,915.79
21年3月期	42,746	34,320	79.5	1,871.25

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 34,771百万円 21年3月期 33,963百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	22.50	—	22.50	45.00
22年3月期	—	22.50	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	22.50	45.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,600	2.1	6,160	22.8	6,100	18.9	3,600	40.7	198.34

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 18,687,818株 21年3月期 18,687,818株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 537,576株 21年3月期 536,485株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 18,150,300株 21年3月期第2四半期 18,150,911株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

なお、通期連結・個別業績予想は、平成21年5月8日に発表したものから修正いたしました。詳細は、添付資料の4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、厳しい雇用情勢や所得環境の悪化から生活防衛意識は益々高まり、個人消費の低迷や生活必需品における市場価格の下落が進むなど、依然として大変厳しい消費環境が続いております。

このような状況下、当社グループにおきましては、消費者ニーズを捉えた低価格帯商品や新企画商品の品揃えを強化してきました。これらの取り組みにより、既存得意先からの新しい商品・売場の企画やOEM商品開発の要請や、これまで取引がなかった業態や得意先との取り組みも増加したことで、これまで苦戦していたディビジョンの業績も徐々に上向きとなっており、全体として堅調に推移いたしました。

結果といたしましては、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高39,696百万円(前年同期比101.2%)、売上総利益10,097百万円(前年同期比107.0%)、営業利益2,956百万円(前年同期比137.4%)、経常利益2,894百万円(前年同期比133.8%)、四半期純利益1,725百万円(前年同期比147.3%)と増収増益となりました。

なお、平成21年6月4日開催の当社取締役会において決議いたしました㈱スティラジャパン解散に伴う追加損失見込額約240百万円については、当第2四半期連結累計期間において当初の見込み通り推移しております。

<ビジネスモデル群別売上高>

期 別 ビジネスモデル群別	前第2四半期連結累計期間 (平成20年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (平成21年9月30日)			前連結会計年度 (平成21年3月31日)	
	売上高	構成比	売上高	構成比	前年同期比	売上高	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(%)	(百万円)	(%)
有名ブランド(FB)ビジネスモデル	11,663	29.7	10,460	26.3	89.7	22,946	28.4
プライベートブランド(PB)ビジネスモデル	16,753	42.7	17,068	43.0	101.9	35,726	44.1
ギフト(NB加工)ビジネスモデル	8,933	22.8	10,361	26.1	116.0	18,611	23.0
その他	1,877	4.8	1,806	4.6	96.2	3,613	4.5
合計	39,229	100.0	39,696	100.0	101.2	80,898	100.0

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。

「有名ブランド(FB)ビジネスモデル」におきましては、高額な有名ブランド商品を中心に店頭販売の不振が続く中、低価格帯カジュアルブランド商品や自社オリジナルブランド商品によるカジュアルインポート売場づくりや、売れ筋ブランド商品のアウトレット企画等に取り組んでまいりました。アクセサリ関連はまだ販売回復の進捗が鈍いものの、鞆につきましては売場活性化策の効果が表れ販売額は前年同期を上回る程に回復しており、時計につきましても第1四半期連結累計期間後半より徐々に好転の兆しが見えてきております。また、苦戦が続いていた香水中心のコスメティック事業においては、商品構成を健康・美容関連商品へシフトしたことで、新型インフルエンザ対策用マスクや低単価・高機能化粧品等の販売が好調となりました。

「プライベートブランド(PB)ビジネスモデル」におきましては、A&V関連ではエコポイント制度や地上デジタル放送への切り替えも後押しして業績が伸長いたしました。アパレル関連ではケイパブランドのシューズの販売が拡大しました。また、家庭用品関連では節約志向に伴う内食の高まりや調理玩具の人気もあり、氷かき器や圧力鍋、マグボトルの販売が好調に推移したほか、デザイン家電関連では、しずく型をはじめとするデザイン加湿器やアロマ芳香器、雑貨専門店のOEM商品の販売が好調となりました。ホビー関連におきましては、マリン用品の好調に加え、新しい知育玩具として話題性の高いしゃべる地球儀などの販売も好調に推移いたしました。

「ギフト(NB加工)ビジネスモデル」におきましては、ギフト関連では、前期より徹底強化してきた低価格帯商品や半額ギフトが消費者ニーズに合致し、これまで取り扱ひのなかった新たな業態へも販路が拡大するなど、好調に販売を伸ばしております。食品・酒類関連では、中核となる輸入ワインやローアルコールビールが好調となったと共に、昨年秋に発売した第3のビールも低価格を武器に売り先が拡大しております。

結果、売上高におきましては、有名ブランド(FB)ビジネスモデルが10,460百万円(前年同期比89.7%)、プライベートブランド(PB)ビジネスモデルが17,068百万円(前年同期比101.9%)、ギフト(NB加工)ビジネスモデルが10,361百万円(前年同期比116.0%)と堅調に推移しました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は34,001百万円（前連結会計年度31,329百万円）となり、2,672百万円増加いたしました。これは主に、商品及び製品439百万円、受取手形及び売掛金1,386百万円、繰延税金資産568百万円の増加によるものであります。

### (2) 固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は11,712百万円（前連結会計年度11,417百万円）となり、294百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券278百万円の増加によるものであります。

### (3) 流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は10,208百万円（前連結会計年度8,079百万円）となり、2,129百万円増加いたしました。これは主に、買掛金1,392百万円、デリバティブ債務539百万円の増加によるものであります。

### (4) 固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は354百万円（前連結会計年度346百万円）となり、7百万円増加いたしました。これは主に、リース債務7百万円の増加によるものであります。

### (5) 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は35,150百万円（前連結会計年度34,320百万円）となり、830百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益の計上による増加1,725百万円及び配当金支払による減少408百万円、繰延ヘッジ損益の減少544百万円による減少によるものであります。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は12,363百万円となり、前連結会計年度末より3百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度末にて非連結子会社であった連雲港花茂日用品有限公司を新たに含めたことにより、47百万円の現金及び現金同等物を受け入れております。

#### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果増加した資金は982百万円（前年同期比243百万円増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,841百万円、仕入債務の増加額936百万円による増加及び売上債権の増加額1,342百万円、法人税等による支払額1,059百万円による減少によるものであります。

#### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果減少した資金は564百万円（前年同期比493百万円減）となりました。これは主に、有価証券の取得による支出186百万円、有形固定資産の取得による支出104百万円及び投資有価証券の取得による支出188百万円による減少によるものであります。

#### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果減少した資金は418百万円（前年同期比3百万円増）となりました。これは主に、配当金の支払いによる支出402百万円による減少によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）の通期連結業績予想につきましては、平成21年5月8日発表の業績予想から修正しております。詳細につきましては、同年10月30日公表の「平成22年3月期第2四半期累計期間の業績予想との差異（連結・個別）及び通期の業績予想の修正（連結・個別）に関するお知らせ」をご参照ください。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 1. 簡便な会計処理に関する事項

##### ① 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出については、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産の減価償却費の算定方法は、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

③ 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定による概算額で計上しております。

④ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定して算出しております。

また、繰延税金資産の回収可能性の判断は、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度で使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用しております。

⑤ 連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去

当該債権と債務の額及び取引金額に差異がある場合には、差異の金額の重要性が乏しい時には、調整を行わないで親会社の金額に合わせて相殺消去しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・追加情報

(関係会社整理損失引当金)

第1四半期連結会計期間より、関係会社の事業整理に伴う損失に備えるため、当該損失見込額を計上しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,363,273	12,360,069
受取手形及び売掛金	12,601,820	11,215,472
有価証券	186,000	—
商品及び製品	7,074,451	6,634,481
繰延税金資産	638,180	69,269
短期貸付金	105,362	65,126
その他	1,088,527	1,061,674
貸倒引当金	△55,839	△76,613
流動資産合計	34,001,777	31,329,481
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,355,701	6,323,058
減価償却累計額	△2,473,900	△2,373,269
建物及び構築物(純額)	3,881,801	3,949,788
土地	5,391,621	5,391,621
その他	752,012	604,345
減価償却累計額	△496,908	△451,915
その他(純額)	255,103	152,430
有形固定資産合計	9,528,526	9,493,841
無形固定資産		
のれん	37,694	47,118
その他	105,314	67,648
無形固定資産合計	143,009	114,767
投資その他の資産		
投資有価証券	1,021,473	742,693
長期貸付金	21,892	5,755
再評価に係る繰延税金資産	189,777	189,777
繰延税金資産	185,234	248,898
その他	845,076	851,374
貸倒引当金	△222,767	△229,635
投資その他の資産合計	2,040,687	1,808,864
固定資産合計	11,712,223	11,417,472
資産合計	45,714,000	42,746,953

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,352,589	2,959,800
1年内返済予定の長期借入金	453	1,335
1年内償還予定の社債	2,250,000	2,250,000
未払法人税等	1,307,284	1,092,219
役員賞与引当金	34,700	42,600
賞与引当金	19,162	19,650
関係会社整理損失引当金	1,757	—
その他	2,242,686	1,713,870
流動負債合計	10,208,632	8,079,475
固定負債		
退職給付引当金	135,883	135,955
繰延税金負債	44,943	45,231
その他	173,655	165,782
固定負債合計	354,482	346,969
負債合計	10,563,114	8,426,444
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,993,003	4,993,003
資本剰余金	5,994,487	5,994,487
利益剰余金	25,527,073	24,213,135
自己株式	△1,014,617	△1,014,476
株主資本合計	35,499,946	34,186,150
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	22,587	△54,916
繰延ヘッジ損益	△445,056	99,759
土地再評価差額金	△277,309	△277,309
為替換算調整勘定	△28,180	10,191
評価・換算差額等合計	△727,959	△222,275
新株予約権	63,816	38,349
少数株主持分	315,081	318,284
純資産合計	35,150,885	34,320,508
負債純資産合計	45,714,000	42,746,953

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	39,229,180	39,696,639
売上原価	29,793,196	29,599,500
売上総利益	9,435,983	10,097,139
販売費及び一般管理費	7,284,727	7,140,593
営業利益	2,151,255	2,956,545
営業外収益		
受取利息	7,942	2,647
受取配当金	5,419	14,761
債務勘定整理益	30,597	27,047
為替差益	63,059	—
その他	40,598	49,585
営業外収益合計	147,616	94,042
営業外費用		
支払利息	14,971	14,859
支払手数料	6,066	5,093
為替差損	—	83,937
デリバティブ評価損	103,363	30,911
その他	10,435	20,801
営業外費用合計	134,837	155,603
経常利益	2,164,035	2,894,985
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	25,302
特別利益合計	—	25,302
特別損失		
店舗閉鎖損失	—	28,736
リース解約損	—	28,247
特別退職金	—	13,606
固定資産除却損	—	6,538
関係会社整理損失引当金繰入額	—	1,757
関係会社株式評価損	27,786	—
特別損失合計	27,786	78,886
税金等調整前四半期純利益	2,136,248	2,841,401
法人税、住民税及び事業税	908,452	1,280,190
法人税等調整額	42,693	△185,728
法人税等合計	951,146	1,094,462
少数株主利益	13,652	21,159
四半期純利益	1,171,449	1,725,779



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,136,248	2,841,401
減価償却費	157,229	161,568
のれん償却額	9,423	9,423
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15,760	△7,900
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,104	△488
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△217,830	△27,642
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,973	△71
関係会社整理損失引当金の増減額 (△は減少)	—	1,757
受取利息及び受取配当金	△13,362	△17,409
支払利息	14,971	14,859
デリバティブ評価損益 (△は益)	103,363	30,911
関係会社株式評価損	27,786	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△343,839	△1,342,249
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△482,382	△12,772
仕入債務の増減額 (△は減少)	665,034	936,058
未払消費税等の増減額 (△は減少)	21,430	△59,496
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△361,688	△463,681
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	282,320	△71,293
その他	202,710	47,156
小計	2,196,732	2,040,131
利息及び配当金の受取額	12,100	16,926
利息の支払額	△14,971	△14,859
法人税等の支払額	△1,454,562	△1,059,424
営業活動によるキャッシュ・フロー	739,298	982,774

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△300,000	△300,000
定期預金の払戻による収入	300,000	300,000
有価証券の取得による支出	—	△186,000
有形固定資産の取得による支出	△71,544	△104,562
有形固定資産の売却による収入	21,899	—
投資有価証券の取得による支出	△4,933	△188,932
関係会社株式の取得による支出	△60,000	△8,761
貸付けによる支出	△6,000	△77,232
貸付金の回収による収入	59,817	9,700
その他の支出	△13,008	△20,710
その他の収入	3,308	12,055
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△70,461</b>	<b>△564,442</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△9,282	△882
自己株式の取得による支出	△1,736	△141
リース債務の返済による支出	△2,758	△15,057
配当金の支払額	△408,011	△402,567
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△421,788</b>	<b>△418,647</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	20,146	△44,088
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>267,194</b>	<b>△44,403</b>
現金及び現金同等物の期首残高	10,875,188	12,360,069
<b>新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額</b>	<b>—</b>	<b>47,608</b>
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,142,383	12,363,273

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

「生活関連用品の卸売事業」の売上高、営業利益は、全セグメントの売上高の合計額、営業利益の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

「生活関連用品の卸売事業」の売上高、営業利益は、全セグメントの売上高の合計額、営業利益の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。